

ザクロソウ と クルマバザクロソウ

どちらもザクロソウ科の目立たない小さな雑草ですが、夏から秋に、校庭の隅っこや花壇の中などには、必ずといってよいほど生えています。特に、クルマバザクロソウが線香花火を散らしたように白い小さな花を咲かせる様子は、ちょっとかわいいです。名前に「ザクロ」がついているのは、葉の样子が樹木のザクロの葉に似ているためです。花の直径は5mm以下で、花のつくりは、白いがくへんが5枚、おしべが約3本、めしべが1本です。花びらはありません。わずかな数ミリの世界にも、植物の特徴がたくさんつまっていて、形を比べながら観察するには良い材料だと思います。君の学校にあるのは、どっちかな。

(太田道人)

表. ザクロソウとクルマバザクロソウの比較

植物名	ザクロソウ(在来種)	クルマバザクロソウ(外来種)
草の姿	高さ15cm程の草	線香花火が散ったかのように、地面に触れながら水平に広がる
におい	ほとんどにおわない	やや強い青くさいにおいがある
葉のつき方	1カ所から3~4枚の葉が出る	1カ所から6枚ほどの葉が出て輪になる
茎	4つの角がある	丸い
花のつき方	茎の上の方に集まって咲く	葉のつけ根に3個ほどつき、順番に咲く

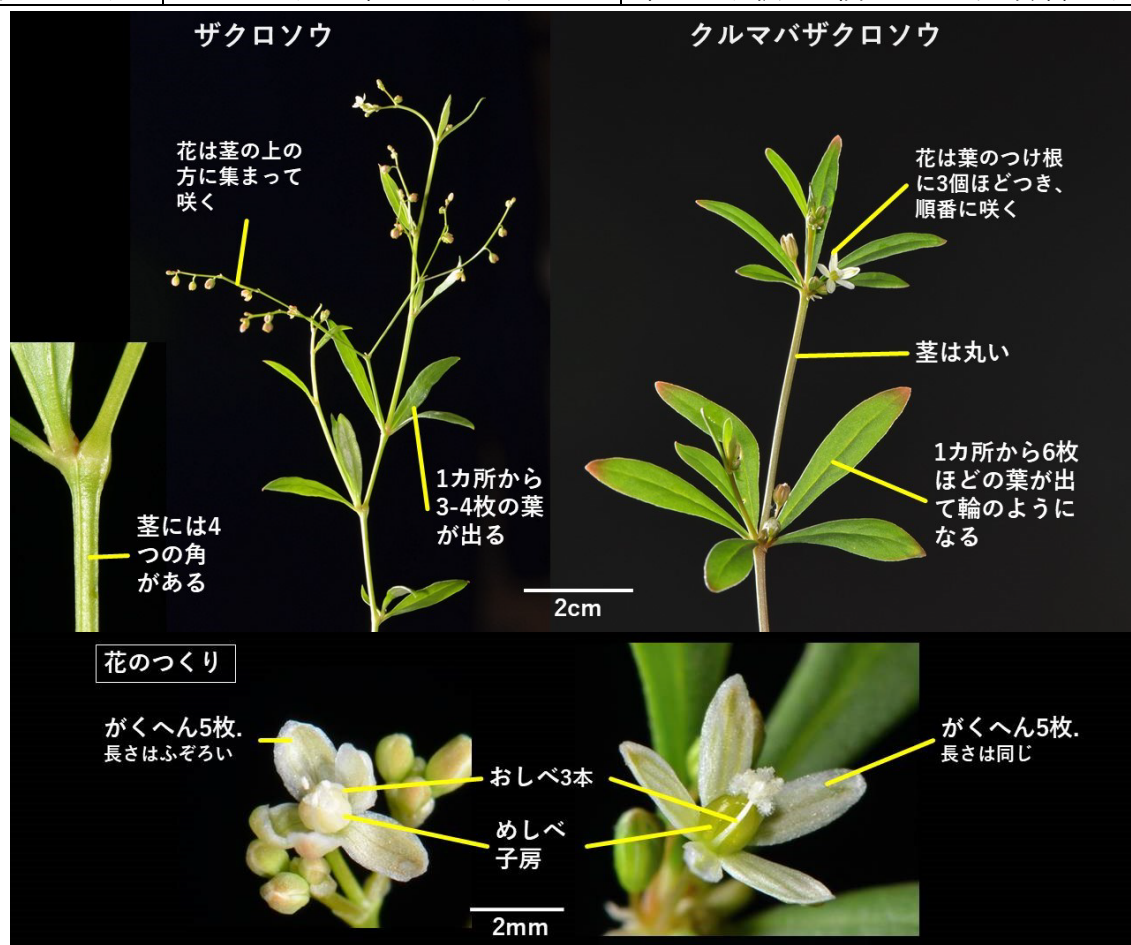


図. ザクロソウ(左)とクルマバザクロソウ(右)の形

